

2020年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名(英)	環境情報学特別研究 (Environmental Information Engineering Studies)		
ナンバリングコード	R40403	大分類 / 難易度 科目分野	環境情報学専攻 / 総合レベル
単位数	10	配当学年 / 開講期	1年 / 通年
必修・選択区分	必修		
授業コード	M522004	クラス名	吉村研究室
担当教員名	吉村 充功		
履修上の注意、 履修条件	特別研究は指導を受けるときだけでなく、普段からの取り組みが重要です。しっかりと取り組んで下さい。		
教科書	なし		
参考文献及び指定図書	受講生の研究課題により、適切なものを指定します。		
関連科目	環境情報学特別演習Ⅰ、環境情報学特別演習Ⅱ		

○授業の目的・概要等							
授業の目的	都市では様々な活動が行われており、派生的に交通行動が行われています。吉村担当の環境情報学特別研究では、都市内や地域の交通問題やまちづくりを主な対象として、現象解析や数値シミュレーション、経済評価、アンケート調査分析などの各手法を駆使して、対象とする交通問題の解決策や効果的なまちづくり手法を提案することを目標とします。また、学生の希望に応じて、建設プロジェクトや建設マネジメントの評価をはじめ、土木計画学、経済学、社会工学などの各分野を横断的に扱う研究テーマも設定します。特別研究を通じて、社会課題を解決する修士論文を完成することを目標とします。						
授業の概要	研究テーマに沿って研究を行います。研究内容により、交通現象を解析、まちづくりを進めるための調査、数値シミュレーション、解析、評価などを行います。特に大分での事例を扱った研究をベースに進めます。						
授業の運営方法	<table border="1"> <tr> <td>(1) 授業の形式</td> <td>「演習等形式」</td> </tr> <tr> <td>(2) 複数担当の場合の方式</td> <td>「該当しない」</td> </tr> <tr> <td>(3) アクティブ・ラーニング</td> <td>双方向授業 他</td> </tr> </table>	(1) 授業の形式	「演習等形式」	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」	(3) アクティブ・ラーニング	双方向授業 他
(1) 授業の形式	「演習等形式」						
(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」						
(3) アクティブ・ラーニング	双方向授業 他						
地域志向科目	カテゴリーⅠ：ステークホルダーとの協働による課題解決型学修科目						
実務経験のある教員による授業科目	該当しない						

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確認等)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】				
【知識・理解】				
【技能・表現・コミュニケーション】				
【思考・判断・創造】	①都市内や地域の交通問題やまちづくりを主な対象として、現象解析や数値シミュレーション、経済評価、アンケート調査分析などの各手法を駆使して、対象とする交通問題の解決策や効果的なまちづくり手法を提案することができる。 ②社会課題を解決する修士論文を完成できる。		70点	30点

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
毎回のゼミレポート(10点)、修士論文(60点)を到達目標の観点に照らして評価します。評価結果はゼミの都度フィードバックします。 毎回のゼミ発表(10点)、修士論文発表(20点)を到達目標の観点に照らして評価します。評価結果はゼミの都度フィードバックします。

○その他
各期において上記の到達目標の観点に照らした授業内容を実施し、学修内容を積み上げていきます。

